

平成20年度第1回公立大学法人会津大学教育研究審議会議事録

- 1 日時 平成20年4月1日(火) 13:30~13:40
- 2 場所 会津大学管理棟3階 大会議室
- 3 出席者
委員：角山学長(議長)、黒田委員、ミレンコフ委員、セドゥーキン委員、岡委員、太田委員、
オーア委員、宮崎委員、過委員 計9名
委員以外：その他事務局職員
- 4 議事録署名人 黒田委員、ミレンコフ委員
- 5 議長の代行について
公立大学法人会津大学教育研究審議会規程第4条第3項に定める議長の代行について、角山学長より、学部長である黒田委員、研究科長であるミレンコフ委員の順で指名があった。
- 6 議事
(1) 議題
A 第2条第4号委員の選任について
まず、第4号委員3名の内訳について、角山学長より、1名は学生部長である兼本茂教授を選任し、残り2名を教員の中から選任したいとの提案があり、委員から特に意見等はなかった。
次に学生部長以外の2名の委員の選任について、委員からの推薦を募ったところ、黒田委員より、角山学長の案を示してほしいとの意見があり、他の委員から特に意見等がなかったため、角山学長の選任案について審議することとなった。
角山学長より、前年度まで過半数代表者として教員からの意見等を聞く機会が多かった佐々木篤信教授と、外国人委員の国籍バランスを考慮して中国人教員である趙強福教授を選任したいとの提案があり、他の委員から特に意見等はなかった。
その後、挙手により賛否が問われ、賛成多数により、学生部長の兼本教授、佐々木教授、趙教授の3名を第4号委員に選任することが承認された。
B 第2条第5号委員の選任について
角山学長より、1人は福島県内の高等学校の代表者として福島県高等学校協会会津支部長である福島県立会津高等学校長の小森新一郎氏を選任し、もう1人は末廣酒造株式会社専務取締役の新城希子氏を前回に引き続き選任したいとの提案があった。
委員から特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。

平成20年度第2回公立大学法人会津大学教育研究審議会議事録

- 1 日時 平成20年4月23日(水) 15:00～15:42
- 2 場所 会津大学管理棟3階 大会議室
- 3 出席者
委員：角山学長(議長)、黒田委員、ミレンコフ委員、佐川委員、セドゥーキン委員、岡委員、
太田委員、オーア委員、宮崎委員、兼本委員、佐々木委員、趙委員、小森委員
計13名
委員以外：岩瀬理事、その他事務局職員
- 4 議事録署名人 太田委員、セドゥーキン委員
- 5 議事
(1) 議題
A 教員選考委員会の設置について
角山学長より、配付資料に基づき説明があった。
委員から特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。
- 6 その他
A 学生数等の状況について
学生部長の兼本委員より、配付資料に基づき説明があった。
会津地区の高等学校からの会津大学入学者数が減少したことについて、委員より、高校生の進学志望には、年度によって傾向があるので、来年度は今年度とは違った動きが出てくるかもしれないとの意見があった。
B 岩瀬理事より、北京大学との連携構想検討スケジュールについて、配付資料により説明があった。
委員より、無錫キャンパス構想における会津大学の位置づけについて質問があり、北京大学は、現時点では会津大学と1対1による連携構想を考えているが、将来的にはアジア圏の複数の大学との連携による「インターナショナルコーポレイティブユニバーシティ」の設立を目指しているようだと回答があった。
また、慎重に北京大学との連携構想の話を進めるべきであるとの意見があった。

平成20年度第3回公立大学法人会津大学教育研究審議会議事録

1 日時 平成20年6月25日(水) 15:02~16:06

2 場所 会津大学管理棟3階 大会議室

3 出席者

委員：角山学長(議長)、黒田委員、ミレンコフ委員、セドゥーキン委員、岡委員、太田委員、
オーア委員、宮崎委員、兼本委員、佐々木委員、趙委員 計11名

委員以外：岩瀬理事、その他事務局職員

4 議事録署名人 岡委員、オーア委員

5 議事

(1) 議題

A 平成19年度業務実績報告書について

齋藤事務局長より、配付資料に基づき説明があった。

特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。

B 理事長選考会議の委員の選出について

片平総務課長より、配付資料に基づき、理事長選考のしくみについて説明があった。

このことについて、特に質問等は無かった。

次に、選出委員の構成について、角山学長より、教育研究審議会における選出委員は、学内の委員から3名を選出したいという提案があり、特に委員から異議がなかったため、学内の委員から3名を選出することとなった。

次に、委員の選出方法について、角山学長より、今回の委員選出は、平成18年度第5回教育研究審議会にて委員を選出した際に採用した「3名連記による投票」により委員を選出したいとの提案があり、特に委員から異議がなかったため、理事長、副理事長及び学外の委員を除く教育研究審議会委員の中から3名連記による投票により委員を選出することとなった。

投票を行った結果、得票数1位の黒田委員、2位のセドゥーキン委員、3位の岡委員が理事長選考会議の委員として選出され、4位の兼本委員が補充委員として選出された。

C 専任教員の選考について

語学研究センターの教授候補であるウィリアム・ロジスキー氏、上級准教授候補であるデボブリヨ・ロイ氏、准教授候補である金子恵美子氏及びフレッド・シャノン氏について、選考委員会委員長のオーア委員より、配付資料に基づき説明があった。

その後委員による投票が行われ、投票の結果、候補者4名いずれも出席委員の5分の3以上の信任があったため、計4名を選考することとなった。

D 教員選考委員会について

角山学長より、配付資料に基づき説明があった。

特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。

6 報告事項

A 平成21年度入学者選抜要項について

学生部長の兼本委員より、配付資料に基づき説明があった

このことについて、特に質問は無かった。

B 会津大学国際戦略の指針について

国際戦略本部長の岩瀬理事より、配付資料に基づき説明があった

このことについて、特に質問は無かった。

平成20年度第4回公立大学法人会津大学教育研究審議会議事録

- 1 日時 平成20年7月25日(金) 15:00~16:10
- 2 場所 会津大学管理棟3階 大会議室
- 3 出席者
委員：角山学長(議長)、黒田委員、ミレンコフ委員、佐川委員、セドゥーキン委員、岡委員、
太田委員、オーア委員、宮崎委員、佐々木委員、趙委員、新城委員 計12名
委員以外：岩瀬理事、その他事務局職員
- 4 議事録署名人 佐々木委員、趙委員
- 5 議事
(2) 議題
A 専任教員の選考について
語学研究センターの准教授候補である岡本清美氏について、教員選考委員会委員長のオーア委員より、配付資料に基づき説明があった。
その後委員による投票が行われ、投票の結果、出席委員の5分の3以上の信任があったため、岡本清美氏を選考することとなった。
B 教員選考委員会の設置について
角山学長より、配付資料に基づき説明があった。
特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。
- 6 その他
A 角山学長より、アジア人財資金構想について説明があった。
B 学内昇任基準及び博士前期過程の論文指導教員について意見交換が行われた。

平成20年度第5回公立大学法人会津大学教育研究審議会議事録

- 1 日時 平成20年9月10日(水) 13:12~14:01
- 2 場所 会津大学管理棟3階 大会議室
- 3 出席者
委員：角山学長(議長)、黒田委員、ミレンコフ委員、岡委員、太田委員、オーア委員、宮崎委員、過委員、佐々木委員、小森委員、新城委員 計11名
委員以外：岩瀬理事、石川学生部副部長、その他事務局職員
- 4 議事録署名人 黒田委員、小森委員
- 5 議事
(3) 議題
A 教員選考委員会の設置について
角山学長より、配付資料に基づき説明があった。
特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。
B 専任教員の選考について
企画運営室の准教授候補である橋田力(はしだ・つとむ)氏及び奥平恭子(おくだいら・きょうこ)氏、助手候補である川口立喜(かわぐち・たつき)氏について、教員選考委員会委員長の岩瀬理事より、配付資料に基づき説明があった。
委員より、当初の採用予定より人数が1名増えた理由について質問があり、岩瀬理事より、企画運営室の教員としての資質を十分に備えた人物が採用予定人数以上集まったため、予定よりも1名多く採用することを決定したとの回答があった。また、当初の予定を変更したことで、職員定数上の問題は生じないのかという質問があり、問題はないとの回答があった。
その後委員による投票が行われ、投票の結果、候補者3名いずれも出席委員の5分の3以上の信任があったため、計3名を選考することとなった。
(2) その他
A 平成20年度オープンキャンパス(夏ステージ)の結果について
石川学生部副部長より、配付資料に基づき説明があった。
委員より、全研究室をオープンラボに参加させるためのルールを作るべきであるとの意見があり、角山学長より、オープンラボは全研究室の参加が原則であり、部門会議等で教員に対する周知をお願いしたいとの話があった。
また、オープンキャンパスの開催告知について、より効果的な方法を検討すべきであるとの意見があり、10月開催の秋ステージについても、現役会津大学生を参加させて学生の目線から会津大学をPRしてほしいとの意見があった。
B ITサマーフォーラムの開催について、岩瀬理事より、配付資料に基づき説明があった。
C 角山学長より、科学技術振興機構(JST)の北澤理事長と懇談した際に、会津大学の実態がJSTによく知られていないという印象を受け、会津大学の存在をアピールするために、会津大学及び会津地区のベンチャー企業とJSTのIT担当若手グループとの交流をはかっていくことを考えたいとの話があった。

平成20年度第6回公立大学法人会津大学教育研究審議会議事録

1 日時 平成20年9月25日(木) 16:02~17:33

2 場所 会津大学管理棟3階 大会議室

3 出席者

委員：角山学長(議長)、黒田委員、ミレンコフ委員、佐川委員、セドゥーキン委員、岡委員、
太田委員、オア委員、宮崎委員、兼本委員、佐々木委員、趙委員 計12名

委員以外：岩瀬理事、その他事務局職員

4 議事録署名人 太田委員、ミレンコフ委員

5 議事

(4) 議題

A 会津大学大学院履修規程の一部改正について

大学院教務委員会委員長のミレンコフ委員より、配付資料に基づき説明があった。

特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。

B テニユア・トラック制の導入について

角山学長より、教育研究審議会における同議題の審議経過について説明があった後、片平総務課長より、配付資料に基づき説明があった。

委員より、会津大学教員として相応しい資質についての議論が十分になされていないのではないかという意見があった。また、成績や業績など客観的な評価基準により会津大学教員としての資質を判断すべきであり、もうしばらく議論を重ねて来年度以降に施行するのがよいとの意見があった。

それに対して、会津大学の名誉を守るために会津大学教員として相応しくない人物をいかに排除するかということについて大学として考えなければならないとの説明があり、資質や人格等を文章で表現すると曖昧な表現になるのは仕方がなく、雇用者側による制度の濫用がないかを教員全員で監視する必要があるとの意見があった。また、学生に最善の教育を与えることが大学の目的であり、テニユア・トラック制は、不適格な教員から学生を守るための制度であるとの意見があった。

その後いくつかの議論が交わされ、角山学長が委員に今回の審議会で採決を行うことについての賛否を問い、賛成多数となったため、挙手により本議題の賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。

議題Cの審議の前に、委員、岩瀬理事、事務局長、次長及び総務課職員以外の職員が退席した。

C 准教授から上級准教授への昇任について

角山学長より、准教授であるインチョン・ペク氏、イリーナ・キミロバ氏、浅井和人氏、黒川弘国氏、石川毅氏の上級准教授への昇任について、配付資料に基づき説明があった。

委員より、今回の選考で外れてしまった教員に対してどのような説明をするのかという質問があり、部局長が次回の応募に向けて選考から外れた教員をフォローすることが望ましいとの回答があった。

その後委員による投票が行われ、投票の結果、候補者5名いずれも出席委員の5分の3以上の信任があったため、候補者5名を上級准教授に昇任させることとなった。